

大学間連携共同教育プログラム

-未来像を自ら描く電気エネルギー分野における実践的人材の育成- 電気エネルギー講座のご案内

大学間連携事務局 小迫 雅裕

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、この度、大学間連携共同教育プログラムによる講義を下記の要領にて
開催致します。つきましては、たくさんの方々にご出席頂きたくご案内申し上げます。
ご参加の程、お待ちしております。

敬具

記

「大型発電機の小型化, 高効率化を実現する 絶縁材料の最新開発動向」

—絶縁材料のナノコンポジット化による高耐電圧化開発—

講師：武藤 浩隆 氏（三菱電機株式会社）

主催：九州工業大学 大学院 工学府 電気電子工学専攻
協賛：九州パワーアカデミー

【日 時】2022年12月9日（金） 16:20 ～ 17:50

【場 所】九州工業大学戸畑キャンパス 教育研究10号棟2F 201室
JR鹿兒島本線「九州工大前駅」下車 徒歩10分
<http://www.kyutech.ac.jp/information/map/tobata.html>
キャンパスマップ10番の建物

【定 員】30名（参加費無料）

【参考URL】 <http://renkei.ees.kyushu-u.ac.jp/topics/topics646.html>

【講義の概要】

大型発電機は蒸気タービンの機械エネルギーを電気エネルギーに変換する発電システムにおける重要機器である。風力、太陽光などの自然エネルギーを利用した分散型発電システムは脱炭素の要請から拡大を続けるが自然状況の影響を受けやすい。そのため、火力、原子力等の集中大電力発電は安定電源として今後も重要であり続ける。本講演では大型発電機用絶縁材料の高性能化開発の最新の動向、特に絶縁材料のナノコンポジット化による高耐電圧化開発の現状について紹介する。

※(博士後期)工学融合科目の聴講証明が必要な方は、講義終了後、小迫准教授に申し出てください。